Animal Behaviour and Management 投稿規程

1. 掲載論文

1) 投稿論文は、ヒトと係わる動物である産業動物（家畜）、伴侶（愛玩）動物、実験動物、展示動物、野生動物の行動と管理に関する基礎的・応用的研究で、家畜管理学および応用動物行動学上価値ある内容をもち、本投稿規程に従ったものでなければならない。また、他誌に未発表のものに限る。
2) Animal Behaviour and Management（ABM）に掲載する論文は、原著論文（一般論文、短報）、総説、解説、資料、シンポジウム報告、講演要旨とする。
3) 原著論文（一般論文、短報）は、独創的な研究・調査に基づく学術的な知見を含むものとする。一般論文は、実施の目的、方法、データ解析、結果、考察が適切であると判断されるものとする。短報は、一般論文としてはまとめ得ないが、方法や結果などに価値ある内容を含むもので、原則として図表などを含めて刷り上がり2 ページ以内とする。資料では、技術開発および普及、観察データに関する内容についても扱うものとし、独創性・学術性は問わないが、前述したヒトと係わる動物の研究・調査および飼育・管理に従事する者に対して有益な情報を提供するものとする。
4) 動物の行動と管理学会では、プレプリントとして入手可能な論文についても審査を行う。また、ABMに投稿した論文についても受理されるまでの期間はプレプリントサーバーに投稿することができる。

2. 投稿論文の作成方法

1) 投稿論文は、和文または英文とする。
2) 投稿論文の原稿作成にあたっては、「Animal Behaviour and Managementのための論文投稿の手引き」に従うものとする。なおこの論文投稿の手引きは、動物の行動と管理学会のホームページ（http://www.jsabm.org）からダウンロードすることができる。
3) 投稿論文は、電子メールで添付ファイルとして編集委員会宛て送信する。原稿は、原則、MS Word およびExcel 形式とする。原稿には、必要事項を記入した原稿投稿用紙を添付する。原稿投稿用紙は、動物の行動と管理学会のホームページからダウンロードすることができる。

3. 投稿論文の審査および掲載方法

1) 投稿者は、動物の行動と管理学会会員に限る。ただし、共著者には会員以外の者を含むことができる。
2) 論文の採否は、編集委員会が依頼する論文審査員（原則2 名）の審査を受けた後、編集委員会が決定する。したがって、編集委員会は原稿を返却したり、訂正を求めたりする場合がある。なお、動物に不必要な苦痛を与えるなど、倫理に反すると判断した場合は、掲載を拒否することがある。
3) 審査が終了した時点で、受理論文については、最終原稿を電子メールで添付ファイルとして編集委員会宛て送信する。この段階での加筆、訂正は認めない。
4) 論文の掲載は、原則として審査終了（受理）順とする。
5) 著者校正は１回とする。校正結果は、電子メールもしくはFax にて、指定された期日までに編集委員会宛て返信する。
6) 本誌に掲載された論文の著作権は、動物の行動と管理学会に属する。
7) 別刷が必要な場合には、その分についての実費は著者負担とする。

昭和62 年 4 月 3 日一部改正　平成 6 年 3 月31 日一部改正　平成21 年 3 月28 日全面改定
平成 3 年10 月30 日一部改正　平成 8 年 3 月30 日一部改正　平成23 年 3 月28 日一部改正
平成 5 年 4 月21 日一部改正　平成10 年 3 月29 日一部改正　平成24 年 3 月30 日一部改正
令和 7 年10 月30 日一部改正

Animal Behaviour and Management 編集委員会

＜投稿受付・審査担当＞
新宮　裕子
〒086-1135 北海道標津郡中標津町旭ヶ丘7番地
北海道立総合研究機構　酪農試験場
Tel: 0153-72-2004　Fax: 0153-73-5329(代)　Email: singuu-yuuko@hro.or.jp

＜著者校正対応・編集担当＞
中嶋　紀覚
〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8
東京農工大学　農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター
Tel: 042-367-5812　Email: fx0436@go.tuat.ac.jp

Presented by Medical*Online

Animal Behaviour and Management のための論文投稿の手引き

Animal Behaviour and Management のための論文投稿の手引き(ABM 投稿の手引き)は，原稿執筆の際の指針として Animal Behaviour and Management 投稿規程を補うためのものである．

【論文の作成方法】

1．論文の体裁

一般論文および短報は，表題，著者名，所属機関名とその所在地，連絡者，略表題，英文 Abstract（または和文要約）およびキーワード，本文（緒言，材料および方法，結果，考察，謝辞），引用文献，図の説明文，図，表の順とし，英文論文の場合には和文抄録，和文論文の場合には英文 Summary を最後に付ける．本文においては結果および考察など，適宜一緒にすることが出来る．一般論文および短報は和文抄録または英文 Summary に表題，著者名，所属機関名とその所在地を加える．キーワードは，英文 Abstract（または和文要約）と和文抄録（または英文 Summary）の両方の最後に付ける．

なお，研究の性格の特殊性により本投稿の手引きに従うことが困難な場合には，異なった体裁でも編集委員会で許可することができる．

2．用紙と字数

A4 サイズの用紙を縦方向に使用し，上下左右とも 2.5 cm 以上の余白を設ける．（なお，英文では約 800 語が，和文では約 2,000 字が刷り上がり 1 ページとなる．）

12 ポイントの字体で，ダブルスペースで印字することとする．タイトルページ（表題，著者名，所属機関名とその所在地，略表題を含む）を第 1 ページとし，要約（または Abstract）およびキーワードを第 2 ページとする．第 3 ページより緒言以下の本文を作成する．連続したページ番号を見やすい位置に記入する．ページ番号にハイフンはつけない．行番号はページごとに付け，左側の余白に記入する．フットノートは使用せず，必要事項はすべて本文中に記載する．

3．表題

表題は，論文内容を的確かつ簡潔に表現する．英文の場合，文頭と固有名詞の 1 文字目は大文字とし，他は小文字で記載する．文末にピリオドを付けない．

4．著者名

英文の場合，著者全員の氏名をファーストネーム，ファミリーネームの順に，略さずに記載する．ミドルネームはイニシャルにピリオドを付けて記載する．

5．著者の所属機関とその所在地

著者全員の氏名，所属機関および部局，その所在地を記入する．所在地は，郵便物が正しく配達される範囲とし，最後に国名を記入する．数字を付して，著者とその所属との対応を明確にする．

6．略表題

略表題は製版の際にランニングタイトルとして使用される．英語では 40 文字以内(単語間のスペースを含む)，日本語では 15 文字以内とする．

7．連絡者

氏名，所属機関とその所在地，郵便番号，ファックス番号，E-mail アドレスを記載する．

8．要約および抄録

Abstract は英語で 200 語以内，要約は日本語で 400 字以内，和文抄録は日本語で 600 字以内，Summary は英語で 400 語以内とする．

1）要約(または Abstract)は，目的，方法，結果，結論の要点を簡潔明りょうに表現する．要約(または Abstract)は個々の論文内で本文の前におかれる．

2）和文抄録（または英文 Summary）の記載は表題，著者名，所属機関名とその所在地，抄文の順とする．和文抄録（または英文 Summary）は個々の論文の最終ページにおかれる．

9．キーワード

英文の場合は 5 個以内の英単語（あるいは 4 単語以下からなる語句），和文の場合は 5 個以内の語句とし，アルファベット順に並べる．キーワードは，論文の内容や研究分野を示す言葉を吟味して選択し，余りにも一般的なものの使用は避ける．

（例）Ca は Calcium metabolism, Calcium intake など，Protein は Protein synthesis, Milk protein などとする．

10．本文

投稿する前に十分に文章を推こうし，論旨の明りょうな論文にする．英文では事前に外国人または専門家による英文校閲を受けるなどし，和文でも図表の説明の英文や英文 Summary は事前に外国人または専門家による英文校閲を受けるなどして正しい英文にする．

Presented by Medical*Online

1）略語は，要約と本文中で最初に使う所で正式名称を記し，(　)内に略語を示す．
2) 専門用語は原則として文部省学術用語審議会編「学術用語集」，日本畜産学会編「新畜産用語辞典」などに準拠する．特に行動の用語については佐藤ら編「動物行動図説」に準拠する．特殊な専門用語は極力使用を避け，難解な漢字はなるべく平仮名で表記する．
3）化学名，物理・化学量は，IUPAC の勧告に従う．単位は原則として SI あるいは SI 組立単位を用いる．SI あるいは SI 組立単位に含まれないもの，および常用されていない単位については慣用的に用いられている単位を使用してもよい．
（例）h（時間）, min（分）, s（秒），℃（摂氏）, mmHg, rpm, Hz, mL，mol/L，*g*（重力），00.00 hour （時刻）
数値と単位との間は，%と℃を除き，スペースをとる．
（例）7 min，　3000 rpm，　10 mmol/L，　25%，　37℃
4）ラテン語系副詞および慣用語，学名（動物，植物，微生物の種名に限る），ならびに P 値は，*in vivo*，*in vitro*，*Bos taurus* ，$P < 0.05$ のようにイタリックで表記する．動物の和名は原則として片仮名とする（ヒト，ウシ，ウマ，ヤギ，ヒツジなど）．
5) 和文では，本文ならびに文献リスト中の外国人名は原名つづりで書く．その他の外国語は原字または片仮名で書く．
6）本文中の文献引用箇所には著者名と年号を，または著者名の後に年号を括弧付きで示す．
(1) 英文では，2 人の連名のときは必ず両者の姓を“and”をはさんで併記する．ただし，括弧内に記載する場合は“&”を用いる．また，3 人以上の連名のときは筆頭著者以外を“*et al.*”と略記する．この表記法によって区別できない（著者名と年号が同じ）文献は，本文への記載順に年号の後ろにアルファベットを付ける．
（例）…(Nalbandov 1963)．…(Smith *et al*. 1950; Drori & Loosli 1958a)．Nalbandov (1963)…，　Drori and Loosli (1958b)，　Smith *et al.*(1983)…
(2) 和文では，2 人の連名のときは必ず両者の姓を併記し，3 人以上の連名のときは筆頭著者以外を“ら”と略記する．
（例）…報告した(Nalbandov 1963)．…報告されている(Smith ら 1950; Drori と Loosli 1958)．
Nalbandov (1963)は…，　Drori と Loosli (1958)は…，　Smith ら(1983)は…
(3) 同じ括弧の中で複数の引用著者がある場合は，年号の古い順，また同一年の場合はアルファベット順に書く．
7）用いた動物の飼育および動物を使用した実験については，それぞれの機関のガイドラインにしたがって行ったことを示す．それが不可能な場合には，動物倫理に充分な配慮が払われたことを明記する．
8）材料と方法の項で製造者を示す場合は，会社名，都市名，国名（日本も含む）を表示する．2 回目の引用の際には，会社名のみを示す．
9）句読点は，和文の場合「、」「。」を使用する．

１１．謝辞
産業界との連携，提携，研究助成金の授受，研究者ならびに研究機関の援助を受けた場合は謝辞に記載する．

１２．引用文献
1) 引用できる文献は，原則として単行本および審査員制度を採用している学術雑誌に掲載された論文とする．ただし，先行研究が少ない等の理由で編集委員会が認める場合には，Web を介して閲覧が可能な報告書、紀要、Proceedings、電子資料および特許等も含めることができる．なお原著論文（一般論文と短報）以外の総説，資料などには，この制限は適用されない．
2）未発表データを引用する場合は，本文中では著者名，年号，unpublished data を記載し，文献リストには掲載しない．
（例）…(Smith *et al*., 2000 unpublished data).
3）雑誌名は略さず，イタリック表記とする．
4）印刷中の論文を引用する場合はそのコピー（電子ファイル）を原稿に添付する．
5) 引用した文献のリストは，次の手順により作成する．
(1)雑誌に掲載された文献の記載は，著者名（全員），発行年，表題，雑誌名，巻，開始ー最終ページの順とする．
（例）Drori D, Loosli JK. 1959. Influence of fistulation on the digestibility of feeds by steers. *Journal of Animal Science* **18,** 206-210.
大山嘉信，柾木茂彦，森地敏樹．1973．サイレージの発酵経過に及ぼす埋蔵温度およびグルコース添加の影響．日本畜産学会報 **44**，55-67

Presented by Medical*Online

(2)単行本の記載は，著者名，発行年，書名，版，引用ページ，発行所，発行地の順序とする．分担執筆の場合は編集または監修者名を加える．

成書の場合

（例）Nalbandov AV. 1963. *Advances in Neuroendocrinology* 2nd edn. University of Illinois Press, Urbana, IL.

諏訪良夫．1977．定量形態学．第１版．岩波書店，東京．

成書中の章の場合

（例）Folley SJ, Malpress FH. 1948. Hormonal control of mammary growth. In: Pincuss G, Thimann KV (eds), *The Hormones,* Vol.1, pp. 695-743. Academic Press, New York.

ただし，著者が単名の場合は，(eds)のかわりに (ed.)を用いる．

(3)電子資料の記載は，発信機関名，発信年，ホームページの名前，機関名，所在地，引用年月日，URL の名前の順とする．

（例）National Center for Biotechnology Information (NCBI). 1999. Nucleotide-nucleotide BLAST (blastn) [homepage on the Internet]. National Center for Biotechnology Information, Bethesda, MD; [cited 13 December 2002]. Available from URL: http://www.ncbi.nlm.nih.gov/blast/

(4)特許を引用するときには，発明者名，発明出願年，発明の名称，特許番号（得られていない場合は，公開番号，または出願番号でも可）の順に書く．

（例）Tomogane H. 2002. Improved method for meat quality. Japanese Patent No.3433212, granted 19 January 2002.

友金 弘．2002．ブタの肉質の改善方法．特許番号；3433212．（外国の場合には，国名等を記載）

(5)文献リストの記載順序

a)筆頭著者の姓をアルファベット順に並べる．

b)同一筆頭著者による複数の文献がある場合は，単著論文をはじめにおき，つぎに複数著者文献を第 2 著者，第 3 著者のアルファベット順に並べる．さらに同一複数著者の場合は発表年順にする．

c)同一筆頭著者による単著，2 名あるいは 3 名以上の共著にそれぞれ同一発表年の文献がある場合には，本文中に引用した順にアルファベットを付ける．

１３．図表（図の説明を含む）

1) 英文，和文に関わらず，図表は全て英文表記とする．

2）図の説明（legend）は，独立したファイルに番号順に記述する．

3）図表は A4 サイズであれば，縦あるいは横方向のどちらに使用してもよい．

4）図は，１つのイメージについて１つのファイルを用意し，JPEG あるいは PowerPoint 97～2007 （拡張子は.ppt のみ）のフォーマットで保存したものを準備する．写真は JPEG 形式が望ましい．PDF の使用は避ける．

5) モノトーン原図（グラフや模式図など）は，縦軸横軸の説明，数字，記号などは原図に直接記入する．

6) ハーフトーン原図（顕微鏡や電気泳動写真など）は，鮮明なものを使用する．

7）印刷原稿に必要な図（写真）の解像度は，掲載時のサイズ（カラム幅 80.5 mm / 中間幅 112 mm / フルテキスト幅 168 mm ）で，解像度は 300 dpi 以上とする．縮小される原図では，投稿前に縮小コピーなどにより適，不適を確認する．粗い写真を使って解像度の数字だけを上げたものや解像度が高くてもサイズの小さいものでは，図の鮮明度を上げることができないため注意を要する．カラー図版は，印刷時にはグレースケールで印刷される関係上，不鮮明となる場合があるので基本的に使用を避ける．

8）表は１表ずつ，コンピュータソフト（マイクロソフト社の Excel97～2007， 拡張子は.xls のみ）により独立したファイルの１シート目に作成する．表の説明は，全て同一のシートに本文中の記述と重複しないように記述する．有意差検定などの記号は，容易に判読できるように指示する．Excel で作成した表を Word に読み込む場合は，図として貼り付けるのではなく，Excel ファイルを挿入する．

9）図表にはそれぞれアラビア文字で通し番号を付ける．図表のタイトル，説明は本文を参照しなくても理解できるように記述する．その際，記号は 1), 2), †， ‡， §， ¶ を使用し， *， **， *** は *P* 値を示す時のみに使用する．

10）図や表を挿入する位置を本文中の右側の余白にテキストボックスなどで記入する．ただし，印刷の都合で希望に添えない場合がある．

１４．補助資料

1）冊子体で提供できない動画や音声，高精細写真等のデータを，J-stage に論文の電子付録として掲載が可能である．電子付録は本文中に引用されている必要があり，論文の審査に付される．受理された論文が J-stage で公開される際，電子付録は校正過程を経ずに著書が作成したものがそのまま公開される．

2）１ページ目は表紙，２ページ目以降にデータを記載する．表紙は，１行目に補助資料と記載し，２行目以降，表題，著者名，所属とその住所を記載する．本文が英文の場合は英語表記，和文の場合は日本語表記

Presented by Medical*Online

とする．

3）図，表，文章，写真の体裁は，投稿の手引きに準ずるとし，補助資料図 1，補助資料写真 1，補助資料表 1 のように番号を付ける．図表のタイトルや説明文は図表ファイルに含める．

4）投稿時は，図，表，文章は，１つのイメージ又は 1 表ずつ Word 形式で作成し，J-stage では PDF に変換して公開される．著者が希望すれば，PDF 以外の形式での掲載も可能である．ファイル 1 件につき最大 50MB，１記事あたり最大 100 件のファイルが添付可能である．

2023．11．6 制定・施行

Presented by Medical*Online